

# 舞台テレビ照明家協会 ニュース

## No. 53

昭和42年12月25日 印刷  
昭和43年1月1日 発行

発行者 東京都渋谷区千駄谷3丁目51番4号 舞台テレビ照明家協会 小川昇 TEL404-2611  
編集者 舞台テレビ照明家協会事務局 印刷所 株式会社新宿印刷

### 理事選出ブロックの再検討について

十二月十二日の理事会に、現在の理事選出ブロックにつき再検討の必要がありはしないかということが提案された。

提案理由は凡そ次の各項に要約される。  
一、理事は理事会を組織して、この協会の会務を議決する。と会則にあるとおり、協会の役員もすべて理事会で決められるもので、理事選出は協会運営の根本になると思うので、次のようなことを充分考慮して慎重審議していただきたい。

一、前の総会で、会員の増加に伴う理事の増員が提案され、会員数の五分の一以内ということとなり、現在六十余名の理事が選出されている。五分の一以内ということであるから、必ずしも会員の増加に比例して理事を増員する必要はないかも知れないが、会員数の何分の幾つということは比例的な意味が含まれていることになる。現在会員数は四百名を越しているのに、理事数は八十名以上になる可能性もあるし、ブロック数が増加すれば理事数も増加することも考えられるのでこのままでよいかどうか。

一、毎年、総会前に各ブロックに対し、事務局から理事選出の依頼状を出す。その返事を集めるのに非常に努力がい

る。甚だしいのはどうしても返事がないので止むを得ず昨年度の理事をそのまま事務局案として出さなければならぬブロックもある。このようなブロックでは理事選出ということはどう考えているのであろうか。

一、六十余名の理事のうち、今年度の理事会に一回も出席せず、代理も委任状も出さず、往復はがきによる返信もないという理事が約半数に近い現状は選出方法に何か不都合な点があるのではないか。このような状態は、選出された理事の責任か、或はブロックの分け方の誤りか。

以上のような項目について討議するに当り、先づ連絡ということに重点を置いたブロックの分け方の議案を提出して検討の結果、従来の理事の任務の中の、会費徴収、ニュース配布、事務的連絡事項などの仕事については、それらに最も都合がよいと思はれるブロックを作り、各ブロックに事務責任者を置くこととし、これを事務ブロックとする。そして、理事選出ブロックは、事務ブロックとは別に、「理事は、理事会を組織して協会の会務を議決する」という理事本来の任務を遂行する理事を選ぶのに最も適当なブロックを作るということになった。

### 謹賀新年



元旦

日本照明家協議会  
関西照明家協会  
中部舞台テレビ照明家協会  
舞台テレビ照明家協会  
(順不同)

理事選出のブロックを作る考え方に  
いては、従来のように職場を基準にして  
考えるか。或は、職種又は各自の境遇を  
基準にして考えるか。ということは、各  
自の技術向上に役立つ部会のようなプロ  
ックを作るとか。いろいろの考え方があ  
ると思うので、最も適当と思うブロック  
の分け方をみんなで考えようということ  
になった。

第五回理事会

日時 十二月十二日午後二時より

場所 中央区立銀座東区民館

出席者 河合、高橋、稲垣、小林、牛

丸、吉田、大杉、河部、小川、

齊藤、布川、種田、塚原、篠原

立木、梶、田中、十六名

委任 稲垣、高柳、大庭、前田、原

工藤、土村、植村、秋山、辻本

大森、石塚、飯塚、青木、岩淵

岡田、別府、梶田、丸岡、小原

小倉、大石、内田、松崎

二十四名 計四十名成立

二時十五分議長、会長が担り開会

会長より年末の理事会はとかく来期理  
事に責任を負せるようなことになりがち  
だ、来期の理事が運営しやすい様にする

のが務めでもあり、十二月、一月と理事  
会を開催して総会に対処したいのと、ブ  
ロックの意見を、是非総会に反映させて  
もらいたい趣旨の挨拶があつた。

議題

一、事務局長を役員とする、これに伴い

会則の改訂を求める案

従来、事務局長は会則に定まったもの  
でなく、運営上、会長、理事長、事務  
局長が三役となり処理してゆき又、協  
議会の幹事であり、実質的に役員の仕事  
を行なうもので、この際、会長、理  
事長、監事、常任理事と同じく役員と  
する方がよとの結論が常任理事会で  
決定された。

会則改訂案

第四章 役員

第十一条 この協会は次の役員を置く

会長一名、理事長一名、事務局長一名

常任理事十五名以内(以下略)

但し、会長、理事長、事務局長、常任

理事は前項にかかわらず理事とする。

第十二条 会長、理事長、事務局長、常

任理事は理事会に於て正会員より推薦

決定し、任期は一年とする、但し再任

は妨げない。

第十六条 役員の仕事は次の通りとする

第三項、第四項の間に次の項を加える

「事務局長は協会の事務を処理する。」

以上を検討、討議の結果、理事会では  
これを承認、次回総会に提出すること

にする。

二、会費納入状況について

事務局より十二月十日現在で三十九年

度以前未納者、会社所屬一名、

フリー三名。

四十年未納者、研究所々属一名、フ

リー四名。

四十一年度未納者、会社所屬(含ホー

ル)十一名、研究所々属六名、劇団所

属五名、フリー二名。

四十二年未納者、会社所屬(含ホー

ル)五十三名、フリー二名

で総会迄に未納者に至急納入するよう

督促し、又四十年未納者にはかり自

然退会としたい旨が報告され、討議の

結果、これを承認、事務局にて実施す

るよう申し入れた。

三、ブロック編成案

総会に提案議題として十一月十四日常

任理事会の運営機関の活性化、常任理

事会の構成、これを選出する理事会の

構成、この理事を選出するブロックの

編成問題がとりあげられ、この編成を

十二月開催の理事会迄に事務局で検討

して編成案をつくり提案することが決

った。

A 別表(事務局案)

東京舞台照明(フジテレビ(3)野

尻グループ(2) 沼田勝夫 草月会館

舞台テレビ照明家  
協会総会

総会

四十三年二月二十二日

午後八時より

懇親会

同日

午後九時三十分

より

於 歌舞伎座 地下大食堂

座談会・最近のスタジオ照明(2)

テレビジョン四月号より

於 都市センター

昭和四十一年十月二十五日(火)

青木 演出家によって、個性の強い人がいますかね。ドラマの中で意識的に照明を強調するような要望があるとき、画面上では照明が先行して見えるけれども、演出意図のポイントの一部に照明が入っているなら、ある程度やむを得ぬことだと思いますね。これも一種の効果照明すかね。

伊藤 ホリゾントに照明の細工をして、セットの代りにするという方法がありません。セットの予算は0、全部特殊効果照明まかせの番組も増えております。音楽番組では初めから終りまで、一曲ごとに照明を変えてばかりいる。照明がそれだけお役に立つのは、けっこうなんですけどね。

石塚 私は天下のNHKさんがそういうことをやるとは思いませんでしたね。(笑) この番組は予算がないからとにかく明りで見せてもらいたい。ホリゾントに影を出してもらいたいという番組がありますが、これが数多くなると、最後には種切れになって困ることがあります。

藤川 照明担当者は、むしろこのように特殊効果照明を喜ぶ傾向もありますね。だいたい物の形を見せることの多い仕事の中で、そのときはやはり照明自体で画面の中にはっきり形を出すのだから。

司会 いまのお話しを伺っていると、照明のディレクターの重要度が大きいというようなことも言えますか。

島山 それは言えますね。現在のテレビ照明というのは、舞台照明の延長ですよ。それで、テレビの照明というのはこういうものであるというような体制はまだまだできていないですね。器具にしてもほとんど舞台の延長のものを使っている。やはり今後の照明としては、テレビ照明のあり方を作り上げなければいけないと思うのですが、どうでしょうか。

照明技法、器具の開発

司会 やはりテレビとしての新しい分野を開拓しなければいけないというお話だと思いますが、そういう仕事はどのようにして進めているのですか。たとえばどこかの研究所を利用するか、メーカーとタイアップするとかいうようなこともある程度考えられますし、現場の皆さんのところでやらなければならぬ面も多分にあると思えますけれども……。

伊藤 NHKの場合は、放送センターを作るときに、もう舞台、映画の影響から脱却してテレビ独自の設備を作るといった自負をもってやったわけですが、どうも照明というものは明るければいいのだというような安直な考え方が、まだどこかに残っていて、理解してもらえないままがかかりました。現場の使命はまだ大変です。

高島 器具とか設備の改良には、メーカーとも密接な連携をとる、共同研究するというところでやっていくべきだと思います。

- (1) 高橋
- B 共立(3) 厚生年金会館(4) 田中舞台 照明(3) 柳瀬
- C 日本教育テレビ(1) 日本テレビ(1)
- D 国際劇場(1) 電気館(1) 演芸場(3)
- E 松竹映劇(1) 東洋興業(2)
- F NHK(1)
- G グループSLS(1) 民芸(2) 文学座
- H 穴沢照研(2)
- I 大庭照研(1) C K K(6) 帝劇(3) 宝塚(6) 芸術座(1)
- J 松崎照研(1) 東京放送(1) 十二チャネル(7) 産経(3) 虎ノ門ホール(1) 黒松
- K 日生劇場(8) A S G(1)
- L 歌舞伎座(8) 新橋演舞場(1) 岸波(本社)
- M 明治座(1)
- N 国立劇場(7)
- O 共立講堂(6)
- P 小川照研(6) 第一生命ホール(1) よみうりホール(1) ヴィデオホール(1)
- Q 小川、大井
- R 統一劇場(4)
- S オカステージ(4)
- T 東京文化会館(4) G E M アート(4)
- U 今井照研(3)
- V 有馬照研(3) 川本、福田溜
- W 日比谷照明(2) 朝日生命ホール(1)
- X 東証ホール(1) 文京(1) 都市 梶

す。それから、技法の開発も、やはり自分のところで編み出していかなくてはならないものだろうと思えますね。

青木 そうですね。たとえば、ぼくのところでカラー番組を作るとします。当然番組によっては従来の器具では満足できない場合が生じますので、メーカーと協力して新しい器具を作ろうということになる。

石塚 現在は各局ばらばらにやっているわけで、これを何とかするべきですね。

伊藤 NHKの設計した器具が非常にいいものであれば、おそらく各局とも同じものを使うと思うのですが、現状はそれぞれ違うものを使っている。それはそれなりにいろいろな理由があるのでしょうけれど、少なくとも、その器具がずば抜けて良いものではないことは認めざるを得ませんね。またどんなものがあるのか、ということ自体がむずかしい問題ですね。

青木 照明技法的にも、各局それぞれ特色がありますから、器具の種類も各局それぞれ特色があるんでしょうね。それが習慣のようなものになっていますから、新しい形の器具があっても、なかなかそこから脱却できないようですね。

伊藤 照明器具は絵描きの筆みたいなものだと思うんです。なれてしまえば、それが一番使いやすい。使いたれたものでペインティングしていくというように性質

質が多分にあると思うのです。

高畠 新しいものを使って、同じ結果がより早くできれば、やはり使い古しの筆は使わないということも考えなければと思えますね。

伊藤 そのとおりです。

藤川 しかし、器具をチェンジしたり、新しく開発するというようなことは、相当な費用が伴ってくる。われわれが新しい器具を開発しようとしても、メーカーにとつては、当座売れるのはその局だけということになって、コストが高くなってしまう。といって、メーカーまかせにしておくと、実務上非常に大事な「使い易さ」という点がどこまで改良されていくか心配です。これは、われわれとメーカーの協力でやるしかない。

伊藤 われわれユーザーが、ここはこうあるべきだというように、統一した条件をメーカー側に提示すれば、コストダウンできるんじゃないですか。

青木 先ほど畠山さんが、舞台の器具の延長だといわれましたが、私が舞台にいた当時の経験から、テレビ局が開局する以前の舞台照明器具は、一部を除いてほとんどテレビ用としては不適當でした。それに、技法的にも舞台とは異質のものですから、最近ではむしろ、舞台のほうでテレビのいろいろな面を、逆に導入しているんじゃないかと思えますね。

石塚 昔の舞台じゃバックライトなんて

使わなかった。フレネルレンズなんかも全然使いませんでした。

青木 ですから、むしろテレビの照明技法や器具なんか、逆に舞台のほうに流れていった感じがしますね。

藤川 映画界のほうへも入っていますね

白熱灯と新しい光源

司会 次に光源ですが、白熱灯には確かにいい点もあるのですが、悪い点がいっぱあって悩んでおられるのではなからうかと思うのですが。

伊藤 青木さん、以前テレビジョン学会誌に書かれたものの冒頭に、白熱電球の利点というものを列挙されたと思うのですが、けれども、ほかの光源はどうもその点でとてもかなわない。私どものところでは、カラー化に備えて蛍光灯を入れて教育番組なんかに使っておりますが、最近になって蛍光灯も調光がようやくできるようになりましたので、今後は相当期待できると思えます。

藤川 テレビは、カメラが数台でセットからセットへ動きまわって、二方、三方から撮るとなると、どうしてもあらかじめ吊り込んでおいた器具を調光するということになるわけです。ですから、光源について考えるときは、まず調光が簡易かどうか重要になってくる。この点ではやはり現在では白熱電球が最も使いやすいと思っています。

天野、比企、岩城、矢野、岡田、辻本、外崎  
X 秋山、磯貝、岩崎、刈屋、菊地、富宿、三浦、吉田、吉木、米津、竹井、地方  
これに対しこの編成案は理事選出の案なのか、それとも事務処理上便利のための編成案か、若しこれが理事選出の案ならば、この際協会の性格について論議し、これにより編成した方がよいのではないか、それにより、理事会の性格が決まり、ブロックよりの理事選出方法も変わってくるし、理事の議決に關しての票決にも關連してくる。  
これに対して、現在ブロックの理事はブロックを掌握し、また会員の意志を理事会に反映しているか、理事会の意向を協会員に伝えていくか、そして現在推薦選出されたブロックの理事数は実際上必要な数か、協会運営の理事会を開催しても半数以下で流会されることが多い。これらのことを検討討論した結果、事務処理の責任者(理事)を置き、先記の事務局編成案を事務ブロックとし、別に「理事は理事会を組織して、協会の会務を決議する」という理事本来の任務を遂行する理事を選ぶのに最も適当なブロックを作ることになり、編成案の一例として、職場的編成、地域的編成、労使的編成等、具体案を一月七日迄に各理事より、提案を

白熱灯に及ぶものはないですね。しかし最近新しい蛍光灯を試作して、白熱電球に負けないところまで行けるとい見通しを得ました。

青木 その場合、あくまでもベースライトとしてですね。キーライトあるいはタッチライトに使用するという点ではどうしても……。

伊藤 スポットライトとして使う場合輝度の低いことは欠点ですね。

青木 カラーの場合、熱処理が問題になってきますね。スタジオも相当暖まりますから、そういう点ではベースライトとして蛍光灯なんかいいですね。

藤川 以前から、5000マの蛍光灯をベースライトとして天井に埋め込んだり、バンクライトとして使っていますが、移動用は相当スペースをとるので、番組によっては使いづらい点もあります。

青木 現在のスタジオの状態ですと、一つのスタジオで、ドラマありミュージカルありで、番組ごとに装置が変わるようになって、そのたびに器具の移動という問題があるのであまり大形のものですちょっと運搬に難点がありますね。しかし、料理番組とかニュース番組のようにセットが固定されている場合は、効果的です。

伊藤 小形にするために、40Wか20Wの蛍光灯をバンク状に並べることを考えてもいいんじゃないですか。

藤川 40Wを採用したのですが、40Wではどうしても大きくなりすぎますね。島山 テレビ照明の宿命で、常に器具を移動しなければならぬ。小形で堅牢なものという制約がありますので、蛍光灯は小形にはなりませんし、設備費が高くなって、蛍光灯だけでオペレーションができればいいので、どうかと思うのですがね。特殊スタジオで、NHKさんのようにたくさんスタジオをおもちのところはこれは充分な効力を発揮しますけれども……。

石塚 新しい光源としては、シールドビームとか沃素電球とか、いろいろあるわけですが、非常に値段が高い、私どもの局でも二、三年前から使っていますが、値段の割合いに寿命が短い、器具は毎日移動して使っておりますし、遊んでいる器具も皆無のような状態なので、なかなかテストができない。それに民放では金の問題が非常にからんでくる。そういう点では、タングステン電球は非常に安いという利点がある。しかしわれわれとしても、現在の状態に甘んじておるわけじゃないので、新しい光源に対しても魅力は感じているのですが、まだ結論が出ていないわけですね。

青木 いま、あるメーカーで開発中のデライトなんかどうですか。  
石塚 あれは非常に大きな安定器が必要ですから、スタジオの天井灯的なものに

使うならいいけど……。それに調光ができない、瞬時点灯できない、というような欠点があって、どうしても使えないんじゃないかと思えます。

伊藤 NHKの放送センターでは、沃素電球を全面的にとり入れました。現在のところ、寿命が五倍で値段が四倍くらいになっている。これはさらに長寿命化する見通しもあります。照明の経済性というのは、器具がいくらで、電球がいくらという買値の考え方のほかに、それによって器具が小形化されて作業回転が良くなる、というような総合的な見地があるわけで、その点で沃素電球は大変なメリットがあると判断しています。

藤川 沃素電球とかシールドビーム、あるいは蛍光灯などは、使い方によってはりっぱに実用できると思えますね。私どもはニューススタジオでは、ベースライトに蛍光灯、キーライトには全部沃素電球を採用して、小さな電力で高照度を得ています。このスタジオの特徴は、照明課員がいなくても操作できるようにしているのです。光源も長寿命ということに特に留意したわけで、非常に良い結果を得ております。

石塚 私のほうも、一番新しいスタジオは一部沃素電球を使っています。  
藤川 それから、たとえば電力が少ない場合、その面をカバーしてスタジオを有効に生かすためには、電球の費用が高

求めることに決定した。  
また常任理事選出方法にブロック推薦の立候補案が提案され、これも検討することになった。

新入会員審査  
赤堀日出夫 (静岡県民会館所屬経験三年)

田中溢郎 (静岡県民会館所屬経験七年)

森下実治 (静岡市公会堂所屬経験三年)

齊藤 征 (フリー経験五年)  
以上浦田謙二郎正会員紹介  
大杉幸茂正会員紹介。審査の結果、これを承認。十二月より入会。

住所変更及表示変更  
小林君子 (小川照研)  
新宿区戸塚町一丁目五〇八番 早稲田アパート

電話番号変更  
日比谷照明 五九一七五三八  
新入会員紹介 (あかぼりひでを)  
静岡市安東三丁目二五番一  
号 泉安東寮内  
昭和三十九年四月より県民  
会館に勤務、照明に従事。

田中溢郎 (たなかいづろう)  
静岡市井宮町一〇一番八号

つくことがわかっていても、多少の欠点があっても、効率が良いということだけで採用せざるを得ない場合もあると思います。

白熱灯の色温度

司会 白熱電球は、まだ依然として人気があるようですが、色温度はだいたい何度ぐらいで使ったらよいか、という評価をされたことがありますか。

藤川 私のところでは、カラーと白黒とスタジオが兼用ですが、3200Kの電球に統一しました。白黒にカラー球を使う不経済さはありますが、そのときは調光することが多いので、さほど短寿命にもならず、このほうが得策だと思っています。

司会 実質200Vですか。スタジオの末端のほうにいけますと、電圧ドロップがあると思いますが、

藤川 一応、電源からは100Vでなくともある程度アップして送ってもらっていますので、実質になっています。

伊藤 イメージオルシコンの感度低下を照明を上げて補なうという話がありましたが、照明が明るければ、イメージオルシコンを長く使うことができます。一方電球のほうでは、色温度を高くすれば効率が良くなって、設備費も少なくて済むしかし、寿命が短くなります。そこで色温度を何度にすれば、イメージオルシコンの費用と電球の費用の和が最少になる

か。こういうことが最終的に電球の経済性ということになると思います。これを実際に分析すると大変むずかしいので、まだ、最終的な結論は出ていないのですが、当初3000Kのところから出発したものが、もっと色温度を高くすべきである、そのほうが経済的にいいのやないかということが検討されています。結論的には3100Kに近づくと思っています。

青木 うちの場合もやはり電力設備の問題で、効率のいい球を使おうということで、カラーでもあるし色温度2000Kを採用したわけです。

島山 うちには3200Kと2900Kのものを併用しているんですが、やはり2900Kのほうは使わない。実際のオペレーターとしてはね。

伊藤 暗いからですか。

島山 そうです。

石塚 タングステン電球の場合、使用時間とともに光量が低下しますから、断線しなくても使えないということもあるわけですね。われわれの希望は、光量の変化がなくて、ぼつんと断線して終わるような電球が欲しい。これはなかなかむずかしい問題だと思えますけれども、その点沃素電球は割合に光量が落ちないというところで採用されていると思うのですが……。

カラー照明の特殊性

司会 次にカラー照明の問題に入りたい

と思います。まず、白黒とどう違うかなんですが、白黒については相当経験のある人達がカラーを担当する場合、まず何を注意すればよいかというようなことから。

青木 カラーカメラに必要な照明を満たすことと、光源の色温度の点ですね。

司会 TBSさんは最近新しいカメラが入ったようですが……。

高島 プランピコン管のもっている特質というものは、充分生かされておりますが、やはり白黒と同じわけにはいきませぬね。必要とされる照度と、許容される色温度の範囲ということを基本にして照明しています。

司会 カメラの感度はいかがですか。

高島 ただプランピコン管だけの絶対感度を比較しますと、S82VAの三倍くらいあるといわれていますがやはりSN比がいい、ガンマが1に近いSiOのような変なシェーディングも出ないし、シャドウの色がきれいに落ちるというような点では有利ですが、少しでも顔色を忠実に出す、カラーライティングをする、カラーチェンジをする、というには器具も大形化していくし、使用電力が多くなっていますね。

司会 カラーとなると、白黒の1000Kに対して、どのぐらいの照度が必要ですか。

昭和三十五年四月より県民会館に勤務、照明に従事。  
森下実治 (もりしたじつじ)

静岡市石田六一〇番一号  
昭和三十八年八月より静岡市公会堂に勤務、照明に従事。

斉藤 征 (さいとうまさる)

昭島市拝島一五三二 都営  
拝島団地一八号二

昭和三十七年より新世界照明に勤務、退職、現在フリー

日本照明家協議会会議

日時 十二月二十三日

場所 名古屋中目ビル

出席者 岡田猪之輔、小川昇、斉藤政雄、前田二郎、中部舞台

テレビ照明家協会会員多数。

議題

決算報告・万国博覧会に対して照明家協会参加の意志統一等。

青木 そうですね。うちが最初始めた3100ですと、約3倍ぐらいです。現在はRCAの3100カメラと4管式分離輝度カメラを使っていますが、4管式は採用してまだ日が浅いので、照明のデータもあまり出ていないのです。だいたい3000Kぐらいでいけるのじゃないかということですね。(つづい)